

市場創造の
可能性を探る②

石材をふんだんに 使用したモデルハウス



福島シャーウッド展示場の外観。重厚な溶岩石が敷きつめられているアプローチが迎え入れてくれる。

神永氏による案内のもと、積水ハウス(株)福島シャーウッド展示場を取材させていただいた。ここには他メーカーのモデルハウスもまわりに並んでいるが、石材をふんだんに使用していることも同展示場の一つの特徴になつていてあるようである。

シャン仕上げ、アプローチを仕切る壁面は磨き仕上げ、その天端はマットな磨き仕上げになつているなど、仕上げのテク

スチャーを変えることで多彩な表情を楽しめるよ

玄関ホールに入ると、ダイニングスペースにも壁面に高畠石が張られており、上質な空間を演出する大きなアクセントに

吹き付け壁の対面(左壁面)には淡い白系石種で柔らかみを感じさせる山形県産「高畠石(凝灰岩)」

が一面に張られている。床の溶岩石とのコントラストが美しく、落ち着いた気品を感じさせるス

ペースになつていている。室内に足を進めると、ダイニングスペースにも壁面には全てに高畠石が使われており、統一感

が持たせながらも坪庭

部屋は格子状にして光を

計算の上でデザインされており、工房がなされているなど、緻密な設計

これまで積水ハウスではオリジナルの石製品(既製の寸法材)を使用してきた実績はあるのですが、それ以外の石材を扱いたいとなった場合に、石材の種類や使い方など、誰に相談したら良いのかがわからなかった。だからこそ、あまり石材が使われてこなかつたという背景もあるかと思います。

当社では、かねてより中・高級住宅を販売する

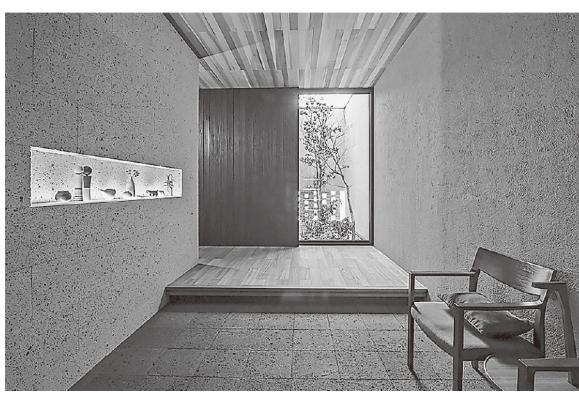
メーカーとしてマーケティングアプローチを進めていますが、石材の天然素材ならではの本物の質感やインパクトは提案のポイントになりうるもの。神永さんとの出会いをきっかけに進められている石材の利用提案ですが、今後さらに需要が広がっていく可能性を感じています。

カタログだけの提案ではなく、実際に展示場で石に触れていただけることが大きいですね。ご来場いただいているお客様からの反応も良いですし、当社社員からの反響も非常に高いです。石材という新しい提案アプローチに出会えたことの喜びと、今後の可能性を感じているからこそその反響ではないかと感じています。

住宅の分野において石材というのは、まだまだ知られていない素材のひとつ。石材業界からの積極的な提案があれば、石材の利用頻度が高まる可能性は大いにあると感じています。



ダイニングスペースも高畠石が上質な空間づくりを演出。ガラス越しに見えるアウトドアリビングには溶岩石が床面に使われている。



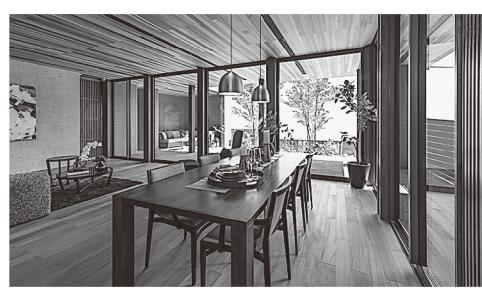
玄関ホール左壁面には柔らかみを感じさせる「高畠石」が張られている。床面の溶岩石とのコントラストが美しい。



和室スペースから坪庭、キッチンスペースまで続く壁面には全てに高畠石が使われている



アウトドアリビングスペースにも床の全面に溶岩石が張られている



キッチンスペースにも高畠石が

天然素材ならではの 本物の質感が魅力

積水ハウス(株)福島支店 設計課設計長 進藤健一氏

これまで積水ハウスではオリジナルの石製品(既製の寸法材)を使用してきた実績はあるのですが、それ以外の石材を扱いたいとなった場合に、石材の種類や使い方など、誰に相談したら良いのかがわからなかった。だからこそ、あまり石材が使われてこなかつたという背景もあるかと思います。

当社では、かねてより中・高級住宅を販売するメーカーとしてマーケティングアプローチを進めていますが、石材の天然素材ならではの本物の質感やインパクトは提案のポイントになりうるもの。神永さんとの出会いをきっかけに進められている石材の利用提案ですが、今後さらに需要が広がっていく可能性を感じています。

カタログだけの提案ではなく、実際に展示場で石に触れていただけることが大きいですね。ご来場いただいているお客様からの反応も良いですし、当社社員からの反響も非常に高いです。石材という新しい提案アプローチに出会えたことの喜びと、今後の可能性を感じているからこそその反響ではないかと感じています。

住宅の分野において石材というのは、まだまだ知られていない素材のひとつ。石材業界からの積極的な提案があれば、石材の利用頻度が高まる可能性は大いにあると感じています。

お、室内からも石材が
ふんだんに使用されてい
ることがよくわかる。
積水ハウス(株)福島支店
・設計課設計長の進藤健
一氏にお話をうかがつた
和室スペースにも高さを
おさえ配置されている
高畠石の存在が、より一
層の上質さを加えている
ように感じられた。よく
見ると、和室から坪庭、
キッチンスペースまで続
く壁面には全てに高畠石
が使われており、統一感
を持たせながらも坪庭

部分は格子状にして光を
計算の上でデザイン
されており、工房がなされ
ているなど、緻密な設計

このほかにも和室の床
面に福島県産「白河石(黒
目/安山岩)」、坪庭に宮
城県産「伊達冠石(安山
岩)」がさりげなく配さ
れているなど、住宅にお

ける石材の可能性を幅広
く提案してくれているモ
デルハウスとなつていた。